

(様式2)

平成27年9月29日

守谷市議会議長 様

委員会名 文教福祉常任委員会

委員長名 高橋 典久

守谷市議会一般会議を下記のとおり開催しましたので報告いたします。

記

1 開催日時	平成27年9月29日 (火) 午前10時~
2 開催場所	守谷市役所 小会議室
3 議 題	子ども・子育て支援制度における幼稚園・認定子ども園の利用者負担額の設定に関する要望書について
4 出席委員名	文教福祉常任委員会 6名
5 参加市民の範囲 及び参加人数	わかば幼稚園園長等（他4名）との意見交換会

【主な発言要旨】

子ども・子育て支援の二つの趣旨は①保護者負担の低減②子どもたちと同じように育てていく（幼・保・私立・公立が同じように）ということである。

しかしながら、認定子ども園に移行したことにより、保育料の負担増が見られる。それは政府が子ども一人当たりで算出したために第二子、第三子についての見落としがあるからだ。

また、認定子ども園の場合、公定価格というのに、入園金や補助金も含まれるという事で、経営を考えると園の規模により今後の収支の見通しがつかない。規模の大きい園は、認定子ども園に移行していない場合が多く、5年間の移行期間に移行していくのか疑問である。補助についても全て申告制になり、本当に補助がもらえるのか不安である。今年度1年間の推移を見ながら、不具合があるようなら守谷市として以前の形に戻すということも考える事も必要ではないか。